

地域共創センターの設置について

深刻化する人口減少や地域課題に対応していくための地域づくりの拠点として、令和8年7月に開館予定である「成岩地域共創センター」の設置及び管理に関する条例を制定します。

1. 設置目的

地域の多様な主体が交流・連携し、持続的な地域発展を促進するため、従来の公民館の機能を包括し、「多様な主体の力を結集した持続可能な地域づくり」の拠点として、成岩地域共創センターを設置します。

小学校の敷地内に設置することで、子どもたちの健全な成長を支えるとともに、地域全体で多世代の連携を図ります。

2. 成岩地域共創センター施設概要

(1) 設置場所：半田市成岩本町2丁目1番地（成岩小学校プール跡地）

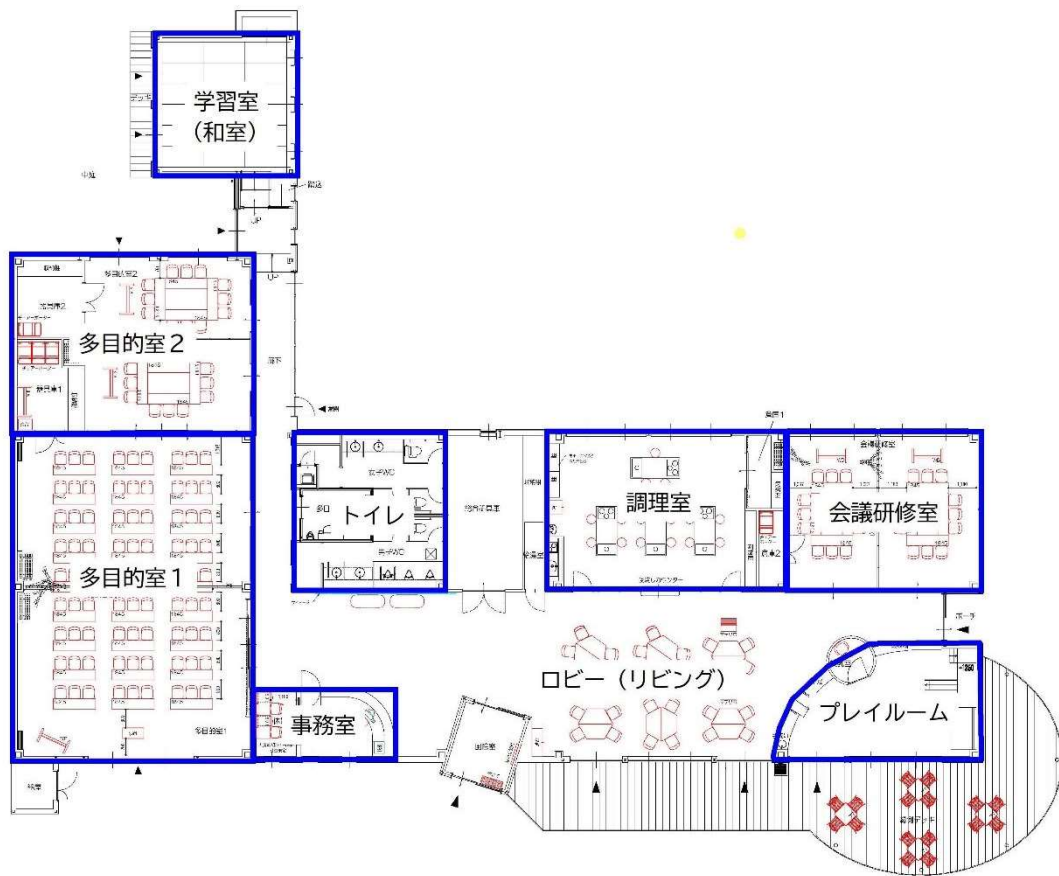


(2) 開館時間：午前9時から午後9時

(3) 休館日：毎週月曜日及び年末年始

(4) 構造・規模：鉄骨造平屋建 延床面積 771.32 m²（敷地面積 2,985.76 m²）

(5) 施設レイアウト



(6) 使用料

部屋名	面積(㎡)	使用料	その他
ロビー (リビング)	158.59	不要	-
多目的室 1	142.27	220 円/時間	可動間仕切により分割可 ※多目的室 2 と一体利用が可能
多目的室 2	55.11	110 円/時間	可動間仕切により分割可
調理室	58.48		-
会議研修室	57.53		可動間仕切により分割可
プレイルーム	37.04	不要	乳幼児用スペース
学習室 (和室)	36.00		-

※ 地区公民館の使用料と同額（地区公民館に合わせ、減免制度も継続、空調の使用料金も 100 円/時）ですが、貸室の使用にあたり入場料等を徴収する、もしくは物品販売等を行う場合は上記金額の **2 倍** の額となります。

(7) 主な事業内容

- 地域住民が自由に集まり交流できる「居場所」の提供
- 地域課題解決ワークショップの開催
- 地域の多様な主体が交流できるイベントの企画・運営
- 地域資源発掘プロジェクトの推進
- 多世代の学びの機会の提供
- 健康づくりに関する講座や運動教室の開催
- ボランティア活動の支援および促進

(8) 当該施設の運営主体について

当該施設は、設計段階から地域住民が参加するワークショップを行い、利用者目線での提案型意見を取り入れ、提案内容が実現できる施設になるよう取り組んできました。令和8年度に開館する成岩地域共創センターにおいては、ワークショップ参加者を中心に「開館準備会（わくわくなるなるタイム）」を組織し、実施事業の計画から施設利用のルール整備、愛称募集の方法まで、幅広い内容について継続的に協議しています。

当該施設は、開館準備会のメンバーを中心に「(仮称) 成岩小学校区コミュニティ」を構築することを目指しており、地域住民自身が担い手となるよう、当該組織に以下①の役割を担うよう委託することを想定しています。また、組織が立ち上げ間もないことから、以下②に関することについては市が直営で行う予定です。

①委託業務 (委託先：(仮称) 成岩小学校区コミュニティ)	②直営実施 (市民協働課)
<主な役割> ・館内の見守り ・地域内での連携のハブ的役割（学校と地域とのつなぎ役） ・簡易清掃 ・貸館対応 ・交流イベントの企画・運営 等	<主な役割> ・各種保守点検等契約 ・運営に関する伴走支援 ・固定費（電気代、ガス代、水道代、電話・Wi-Fi・光通信費等）の支払い

(9) 開館までのスケジュール（予定）

- 令和 7 年 12 月 2 日 : 全員協議会にて報告
- 令和 7 年 12 月 議会 : 設置条例（案）を上程
- 令和 7 年 12 月 22 日～ : 愛称募集
- 令和 8 年 3 月 末 : 施設本体完成
- 令和 8 年 4 月～ 7 月 : 外構工事・備品整備
- 令和 8 年 7 月 25 日 : 開館・オープニングセレモニー・イベント

(10) 施設イメージ



<参考>

【共創について】

「共創」とは、住民・行政・企業・NPO・学校など多様な主体が対等に参画し、課題の抽出から解決策の創出・実装・評価までを共に担い、新しい価値を生み出す取り組みのことです。

人口減少等により複雑化・多様化していく地域課題に対して、多様な主体が集まり、話し合いの中で課題解決に向けた新たな価値を生み出していく拠点となるよう、施設名称を「地域共創センター」としました。

【「協働」と「共創」の違い】

	協働 Collaboration	共創 Co-Creation
定 義	同じ目標や課題に対して、複数の組織や個人が協力して活動すること	異なる立場や視点を持つ組織・個人が <u>連携し、新しい価値やアイデアを生み出すこと</u>
例	異なる立場の人同士がそれぞれの役割を担い、協力して（既存の課題であった）山頂に上ることを目指すもの	<u>どの山に登るかを一緒に選び、地図やルートをつくって試し、必要なら道や山小屋まで整えて新たな登山の価値を生み出すもの</u>